
春の子どもひろば

～紙ごまを作ろう～

〈栄公民館〉

- 開設の趣旨 身近にある紙で紙ごまやテープごまなどを作り、友達と楽しく遊ぶ。
- 期 間 平成27年5月23日（土）
- 時 間 午前10時～正午（計2時間）
- 対象・定員 市内在住の小学生・15人
- 参加者 4人
- 参加費 50円（材料費）
- 講師 元小学校教師 林和歌子
- 事業内容 紙ごまやテープごまなど、紙を材料に手作りのこまを作って遊ぶ。
- まとめ

応募者が7名と少なかった上、当日の欠席者があり、結果的に児童4名の参加で開催したが、付き添いのお母さん方も参加してくださり、親子で3種類のこまづくりをした。親子共々楽しそうに制作し、出来上がったもので一緒に遊んだ。身近な材料で簡単につくることができたので、低学年でも達成感を感じることができたようだ。低学年では、親子一緒に参加形式が効果的であったと思われる。しかし、「こま作り」は子どもの関心度が低く、次年度の課題となった。



夏の子ども体験セミナー

～紙粘土で恐竜を作ろう～

〈栄公民館〉

- 開設の趣旨 紙粘土で思い思いの恐竜を作る工作活動を通して、自分の思いを表現することの楽しさを体験する。
- 期 間 平成27年7月22日（水）・23日（木）（計2回）
- 時 間 午前10時～正午（計4時間）
- 対象・定員 市内在住の小学生・15人
- 参加者 15人 延べ27人
- 講師 絵画教室講師 藤澤 慧梨子
- 参加費 実習教材費300円
- 事業内容 1日目は紙芯で土台を作り、紙粘土で周りを固めながら形を作り、一晩放置乾燥させた。
2日目は、ひび割れ部分を補修した後水彩絵の具で着色し、乾燥後ニスを塗って仕上げた。また、完成した恐竜を互いに鑑賞しあい、それぞれの良い点を伝え合い、体験活動のまとめとした。

○ま と め

募集開始早々に定員に達してしまう程人気があった。講座開始数日前に長崎で恐竜の歯が発見されたことがニュースになり、タイムリーな講座になった。

講師の先生が、子どもの発想や考えを大事に指導してくださったので、どの子どもも意欲的に生き生きと工作に取り組むことができた。仕上がった作品も個性的でのびのびしたものになり、大変満足していたようだ。

子どもたちからも「自分だけの恐竜が作れたので、楽しくてうきうきした」「好みの恐竜が作れてうれしかった」等の声が聞かれ、参加した子どもにとって楽しく充実した体験活動をすることができた。



子どもクッキング

～夏のお菓子を作ろう～

〈栄公民館〉

- 開設の趣旨 小学生を対象に、夏休みを迎える前、夏にちなんだお菓子を作り、料理（お菓子作り）の楽しさを体験してもらう。
- 期 平成27年7月11日（土）
- 時 午前10時～正午（計2時間）
- 対象・定員 市内在住の小学生・15人
- 参加者 16人
- 講師 料理研究家 田澤真佐子
- 参加費 300円（材料費）
- 事業内容 夏にちなんだお菓子（豆腐入り白玉団子のフルーツみつ豆、コロコロクッキー）を作る。
- ま と め

今回作ったのは、豆腐、カボチャペースト、白玉粉を材料に豆腐入り白玉団子を作り、粉寒天で寒天を作り、フルーツ（スイカ、バナナ、サクランボ、メロン、ブルーベリー）を飾り、黒みつをかけた。

コロコロクッキーはくるみを袋に入れ麺棒でたたき細かくし、小麦粉に混ぜ、コロコロさせながら手で丸めオーブンで焼き完成。

参加定員は15人としていたが、兄弟、姉妹での参加が3組となり16人で実施した。

3班のグループで実習、各班の中でもみんながそれぞれの調理をうまく分担し交代、協力しながら楽しく作ることができた。

できあがったお菓子を食えるときはみんな美味しいと笑顔になった。



冬休み子どもひろば

～小学生かきぞめ教室～

〈栄公民館〉

- 開設の趣旨 毛筆習字を習っていない児童を対象とし、筆の持ち方、運びなどの基本を学ぶ。学校から課された冬休みの課題の練習と氏名の練習をし、最終日に清書２枚を仕上げる。
- 期 間 平成２７年１２月２４日（木）・２５日（金）（計２回）
- 時 間 午後２時～４時（計４時間）
- 対象・定員 市内在住の小学生・３０人
- 参加者 ３０人 延べ５７人
- 講師 市民大学書道講師 岩本 景楓 他１０名
- 参加費 画仙紙購入希望する人は実費（１０枚７０円）
- 事業内容 それぞれの学年の課題となっている文字を練習する。学年に応じたためあてに沿って美しく堂々とした文字が書けることをねらいとし、講師の指導を受けながら仕上げた。

○ま と め

この数年、毎年冬休みに入ってすぐ行われている小学生を対象にした書き初め教室である。今回も受講申し込み受け付け後３０分で定員に達してしまう大人気の講座であった。岩本先生はじめ助手の先生方が１０名で指導されるため、一人一人の能力に合わせたきめ細やかな指導がなされた。その結果、受講者は筆使いのコツを覚え、文字の形やバランスを意識して書こうとする意識が高まり、上手に書けるようになったことを実感し、自分の作品に自信を持ち満足して講座を終えることが出来た。受講者からは、来年も受けたいという声が多数寄せられた。

事後のアンケートでは次のような感想が寄せられた。「字のバランスや形、太さをしっかり学べた。」「先生の指導が分かりやすかった。上手に書けたので、また来年も来たい」「今までとは違う字がかけられるようになってうれしい。」「色々なことを教わったので、自分も少しレベルアップしたと思う。」「とても楽しかった。前よりももっと上手になったと思う。また来年も通いたい。」



しなやかに生きる女性セミナー

〈栄公民館〉

○開設の趣旨 女性が地域社会の中でより生き生きと輝いて生活するためにメイク、ウォーキングの方法や薬膳料理を学び、具体的実践の演習により、美的かつ健康的に自分を磨く術を知る。

○期 間 平成28年1月22日・29日、2月5日の金曜日
(計3回)

○時 間 午前10時～正午 (計6時間)

○対象・定員 市内在住又は在勤の方・15名

○参加者 17人 延べ38人

○保育 1人 延べ3人

○参加費 実習材料費800円

○事業内容 より美しく生き生きと輝く女性になろう

回	月 日	内 容	講 師
1	1月22日(金)	美メイクで輝きを	ビューティアドバイザー 柴田 明美
2	1月29日(金)	薬膳料理で体内から 生き生きと	料理研究家 前田 純子
3	2月 5日(金)	美ウォーク!美しい 姿勢でハツラツと	ポスチュアスタイリスト 貴島 弓雅

○ま と め

幅広い年齢層を期待したが若い世代には興味が薄かったようで、保育は1名のみであった。

3講座とも女性にとって関心の高い内容の体験型活動講座であり、会場には終始笑顔や笑い声があふれ明るく和やかな雰囲気講座が進行し、受講者にはたいへん好評であった。講座を受けて、「早速〇〇やってみよう」「〇〇変化が楽しみ」等、美や健康への意欲が向上し、「女性が元気で明るく暮らすことが、社会を明るくすることに貢献すると思う」との声が聞かれた。

また、「公民館は楽しい所だ。以前より親しみがあると感じた」等の声もあり、公民館をより身近に感じていただいた。これからも、文化交流の場とし人が集まる公民館の雰囲気づくり楽しく参加できる講座づくりに努めたい。



手作りアクセサリー

〈栄公民館〉

- 開設の趣旨 市販のビーズやパールで好みのアクセサリー（ネックレス）を作る。
- 期 間 平成27年7月10日・17日の金曜日（計2回）
- 時 間 午前10時～正午（計4時間）
- 対象・定員 市内在住又は在勤の方・15人
- 参加者 15人 延べ30人
- 保育 0人
- 講師 手芸講師 秋山 千恵
- 参加費 実習材料費1,000円
- 事業内容 講師の先生が準備したビーズやパール等のパーツを使い、ネックレスとペンダントを作る。
- まとめ

受け付け開始後数日で定員に達し、30歳代から70歳代と幅広い年齢構成であった。また、保育付きの講座として募集をかけたが、保育の希望者は皆無であった。

講師の先生はじめ4人の助手の方々が、親切丁寧に教えてくださり、受講者は製作活動を楽しむことができた。完成した作品も素敵に仕上がり、完成した作品を首に飾り、鏡を見ながら微笑んでいた。事後のアンケート結果から、参加者の満足度はかなり高かったことがうかがえた。（アンケート提出者14名中、かなり満足8名、満足6名）

公民館の講座として、今回の様に手先を使った作品作りを望む声も多く聞かれた。



異文化交流講座

〈栄公民館〉

○開設の趣旨 タイ人で新座市在住の女性を講師として迎え、東南アジアの中でも観光、経済等、日本と親交が深いタイについて文化、生活習慣などを学ぶ。タイの食文化ではタイの代表的な食べ物の調理実習も行う。

○期 間 平成27年10月23日・30日の金曜日 （計2回）

○時 間 午前10時～正午 （計4時間）

○対象・定員 市内在住又は在勤の方・15人

○参加者 12人 延べ20人

○保育 1人 延べ1人

○参加費 実習材料費700円

○事業内容

No.	月 日	内 容	講 師
1	10月23日（金）	タイの文化	タイ語・タイ文化講師 小松 パパッソン
2	10月30日（金）	タイの食文化 （調理実習）	

○ま と め

★1日目はタイの文化について学んだ。

タイの伝統的な挨拶から始まり、タイの言語の発音・声調の特徴について、基本的なことを学んだ。また、タイの文化や風習を教わったり、伝統的なタイ衣装の試着やタイ舞踊の体験をした。

★2日目はタイの食文化について実習を中心に学んだ。

メニューはグリーンカレー、ココナッツミルクであった。

講師の先生の創意工夫のもと様々な体験活動を通してタイの文化に触れることができた。また、異国の文化を知ること、自国の文化を振り返る機会にもなり、受講者の満足度はかなり高かったことが、アンケート結果からうかがえた。



ヨガで癒そう～入門編～

〈栄公民館〉

- 開設の趣旨 無理なくはじめられるタイ式ヨガで心と体を癒し、リフレッシュする。
- 期 間 平成27年10月3日・10日の土曜日 （計2回）
- 時 間 午前10時～正午 （計4時間）
- 対象・定員 市内在住又は在勤の方・20人
- 参加者 15人 延べ24人
- 保育 6人 延べ8人
- 講師 ヨガインストラクター 高橋 優子
- 事業内容 ルーシーダットン式のヨガで、呼吸を整えながら無理のない範囲で体を動かし、関節や筋肉の柔軟性を高める運動をした。
- ま と め

平日に参加できない人が参加できるように、土曜日に開催した結果、30～50歳代が参加者の過半数を占め、若い世代の参加が得られた。内容的には初心者向きで無理のない動きで体の充足感が得られ、講師の教え方も上手で丁寧であったこともあり、受講者の満足度が高かった。受講者からは、ヨガ講座の再開を望む声が多く聞かれた。

日々の生活に癒しを求めたり、健康志向の高まりを考慮すると、今後も心身のリフレッシュを図る企画が求められていることを感じた。



カンガルー学級

～子育てってたのしいな！～

〈栄公民館〉

○開設の趣旨 子育て中の保護者が生き生きと子育てを楽しめるように気分転換したり、また自分の子育てをふり返ったりしてよりよい子育てが出来るような学びの場とする。

○期 間 平成27年5月28日～7月2日までの毎週木曜日（計6回）

○時 間 午前10時～正午（計12時間）

○対象・定員 市内在住の2歳～就学前の幼児とその保護者・15組

○参加者 13組 延べ61人

○保育 13組 延べ49人

○参加費 1,300円（材料費代）

○事業内容

回	月日	内容	講師
1	5月28日（木）	お母さんのためのヨガ	ヨガインストラクター 高橋優子
2	6月4日（木）	子育て講話	十文字女子大学教授 山田陽子
3	6月11日（木）	アロマテラピー	アロマテラピスト 堀岡 幸恵
4	6月18日（木）	リトミック・合唱	音楽家・指揮者 玉山 マオ
5	6月25日（木）	手づくりパン	料理研究家 田口 清美
6	7月2日（木）	お話会・おすすめ絵本	お話カスタネット代表 新保 藤子

○まとめ

参加者の6割は近隣に住む人であった。

講座の内容は、子育てに直接役立つ専門家の講話や子育て中の母親への心身の癒し等、多様な講座を企画した。事後のアンケートから、参加者の多くが「色々な体験ができ、毎回楽しかった。リフレッシュできた」と答えていることから、概ね満足できた内容であったと思われる。「子どもと一緒に活動をもっと取り入れて欲しい」「ママ達の交流の場をもっと多く欲しい」との要望があり、親子一緒に活動や参加者同士の交流等、場の工夫を次年度の課題としたい。

保育に関しては、「安心して預けることができた。」「親も子も良い経験になった。」と答えており、今後も安全安心、そして参加者に喜ばれる保育を心がけたい。



男の手料理

～俺もできるぜ！炊き込み膳～

〈栄公民館〉

- 開設の趣旨 料理経験の無い人でも比較的簡単にできる炊き込み膳に挑戦することで、料理への関心を高めるとともに、男性の地域での仲間作りの場として行う。
- 期 間 平成27年12月12日（土）
- 時 間 午前10時～午後0時30分（計2.5時間）
- 対象・定員 市内在住又は在勤の方・15人
- 参加者 11人
- 参加費 実習材料費700円
- 講師 料理実践主夫 広瀬 繁
- 事業内容 炊き込みごはん、汁物、焼き物、和え物、漬物の実習
- まとめ

男性向けの料理講座として、今回は一食分の定食＆酒の肴にもなるメニュー「炊き込みご飯、イカのホイル焼き、白和え、大根のベーコンサンド焼き、吸い物」に挑戦していただいた。「漬物」は当初は作る予定をしていたが、時間的に無理があるので、あらかじめ講師が準備したものを食した。

講師は今回講師として初デビューであったが、家庭料理実践経験の豊かさと簡潔明瞭な説明で、参加者には好評であった。

参加者は40歳代～70歳代の幅広い年齢層の参加であったが、参加者はそれぞれの班員と協力しあいながら、和気藹藹と活動していた。

料理は大雑把でありながら程良く仕上がり、出来栄も良かったので、「まさに男の手料理」と、受講者の満足度は高かった。

「家でも作ってみよう」という声も聞かれ、家庭での生活に生かされることを願う。



栄お料理サロン①

～サバイバルクッキング～

〈栄公民館〉

- 開設の趣旨 災害が起き断水停電している状況を想定し、自宅にストックしてあるもので、簡単につくることができる調理法を学び、災害に備える。
- 期 間 平成27年10月7日（水曜日）
- 時 間 午前10時～午後0時30分（計2.5時間）
- 対象・定員 市内在住又は在勤の方・15人
- 参加者 13人
- 保育 1人
- 講師 管理栄養士・防災士 崎山 光江
- 参加費 実習材料費500円
- 事業内容 災害に備える心構えについての講義ならびに災害時を想定し、ストック食材を利用した調理の実習を通して、災害時に対応できるスキルを身につける。
- ま と め

この講座は、管理栄養士と防災士の資格をもつ講師を迎え、単に災害時にストック食材でできる調理法の実習だけでなく、災害に備える心構え等、物心両面から幅広く具体的に教えていただいた。

事後のアンケート結果から、13人中12人が「とても満足した」1人「満足した」と回答しており、受講者にとって満足のできた内容であったと推察される。

特に「災害時にこの様な事を知っているかどうかで応用のきく引き出しを持つことができ良かった」との感想をいただき、地域住民に必要とされる内容の講座であったことを実感した。

また、「家庭での対策について家族で話し合いたい」「友人に今日の内容を伝えたい」等、防災意欲の高まりと行動化がみられ、講座の波紋の広がりが期待され、公民館講座として意義深い内容であった。



初めてのボイトレ

〈栄公民館〉

○開設の趣旨 ボイストレーニングすることにより、豊かな表情で張りのある声を取り戻し、かつ肺機能を高め、誤嚥の予防等、健康の保持増進を図り、生き生き人生を目指す。

○期 間 平成27年11月12日～11月26日までの毎週木曜日（計3回）

○時 間 午前10時～正午（計6時間）

○対象・定員 市内在住又は在勤の方・25人

○参加者 25人 延べ69人

○保 育 3人 延べ8人

○講 師 声楽家 玉山 マオ

○事業内容

回	月 日	内 容
1	11月12日（木）	腹式呼吸をマスターしよう
2	11月19日（木）	表情豊かにきれいな発声をめざそう
3	11月26日（木）	歌も上手になろう

○ま と め

当初定員を20人で募集したが、初日に定員に達した。そこで、急遽定員を5人増やし25人としたが、翌日にはキャンセル待ちが出るほど人気があり、ボイストレーニングへの関心やニーズの高まりを感じた。受講者は50歳代以上の女性が多かった。

全3回の講座で、呼吸の仕方から声の出し方、表情筋の使い方等、基本的な内容を、実技を交えて広く学び、最終回には歌唱力を高める発声法を学んだ。講師の先生の高い指導力と明るい人柄に魅了され、受講者にとって充実感のある有意義な講座となり、受講者の満足度が高かった。



栄お料理サロン②

～郷土料理・懐かしいおふくろの味～

〈栄公民館〉

- 開設の趣旨 地元に伝わる郷土料理の「かてめし」や地場産物の野菜を使った料理を作り、郷土に根ざした食の良さを体験する。
- 期 間 平成27年12月10日（木）
- 時 間 午前10時～午後0時30分 （計2.5時間）
- 対象・定員 市内在住又は在勤の成人・15人
- 参加者 11人
- 保育 1人
- 講師 新座市食生活改善推進員協議会 会員
- 材料費 800円（材料費）
- 事業内容 新座市食生活改善推進員の協力を得て、埼玉県郷土料理「かてめし」と和食のおかず「魚の照り焼き」「ホウレンソウとエノキのおろし和え」「とろろのすまし汁」そしてデザート「ごまだれ団子」を作る。



○ま と め

一時定員に達したが、時節柄体調不良等でキャンセルが相次ぎ、当日は11人の参加で、保育児も1人のみであった。

参加者は30歳代～70歳代まで、幅広い年代層の方であった。

保健センターの栄養士や食生活改善推進員の協力を得て調理実習できたので、受講者に丁寧に対応でき、内容的にも簡単に家庭で作れる料理でしかも美味であったので、受講者に大好評であった。アンケートでも「バランス良く、時間がかからず作れて美味しかった。家族のために作ってあげたい。」等の声が聞かれた。講座の内容が、家庭で活かしていただけるのはうれしいことである。



「にいざ」てくてく歩紀

～野火止・菅沢の里をあるく～

〈栄公民館〉

○開設の趣旨 今回は、野火止と菅沢にスポットを当て、点在する遺跡・文化財を教育委員会学芸員の案内により、てくてく歩きながら回っていき、「にいざ」の郷土の歴史を知ってもらう。

○期 間 平成28年3月18日（金）

○時 間 午前9時30分～午前11時30分（計2時間）

○対象・定員 市内在住又は在勤の方・15人

○参加者 6人

○講師 市生涯学習スポーツ課学芸員

○事業内容 新座駅を起点として、徒歩で菅沢から野火止にある文化スポットを徒歩で回るもの。各スポットでは、講師による文化財などの説明がある。

行程としては、新座駅をスタートし、菅沢稻荷神社から志木街道、野火止用水、伊豆殿橋を経て、平林寺睡足軒の森までのコースを歩いた。

○まとめ

今年度で5回目を迎える「にいざ」てくてく歩紀だが、今回は新座駅に集合し歩き始めた。まずは旧菅沢村の歴史を、現在も残る畑や土地の区画や、菅沢に関わる人物が現在も地域から敬われているなどから、講師のわかりやすい解説があった。その後、野火止地区に進み、石仏群、水神の碑、野火止用水がその地にもどのように関わっていたかなど、解説を聞き地域への関心が深まった。

当日は天候も良くウォーキングには心地よい気候であった。

普段の生活では通りすぎるような場所でも各スポットでの講師の説明にメモをとっていたり、熱心に説明を聞いていたり、とても充実した時間を過ごせたのではないと思う。参加者は少なかったが、参加者からは継続開催の要望があった。



スポーツサイクルビギナー脱出講座

〈栄公民館〉

- 開設の趣旨 埼玉県は、ホームページにおいても「自転車保有率日本一の自転車王国埼玉」と自転車の魅力を大きくPRしている。
自転車は生活に身近であるが、今回はスポーツサイクル（サイクリング）の楽しみ方について取り上げ講座とした。
- 期 間 平成27年11月15日（日）
- 時 間 午後1時30分～午後3時30分（計2時間）
- 対象・定員 市内在住又は在勤の方・50人
- 参 加 者 30人
- 講 師 サイクルスポーツ・プロデューサー 馬場隆司
- 事業内容 「スポーツサイクルビギナー脱出講座」として、スポーツサイクルに乗っている人や、これからスポーツサイクルに乗ってみようかと考えている人を対象に自転車の乗り方などを知る。

○ま と め

今回は、タイトルを「スポーツサイクルビギナー脱出講座」とし、広報、ホームページ、ポスターやチラシで募集したが、講座の内容をうまく伝えられなかったようだ。

参加者の年齢も10代から70代と非常に幅広かった。

講師は、宇都宮市でプロ自転車チームを創設した人で（財）日本体育協会公認スポーツ指導者であり、人のからだの筋肉の役割や、それぞれの人の特性や重芯の位置の違いがあることや、自転車のペダルを踏むにはいわゆるインナーマッスルを効率よく使うことにより、疲れずに坂が上れるなどの話となった。講師も当日の参加者の自転車の経験により話の内容を考慮するとしての講座となったが、終了後の受講者のアンケートでの意見は非常に多種多様で、受講してよかったという意見と、専門的でよくわからなかったという意見もあり、今回、参加者の自転車の講座に求める内容が多様であ

り、講座として対象者をどのように設定し、どのように募集するかが難しいと感じた。



文学講座

～中世文学をよむ・方丈記の世界～

〈栄公民館〉

- 開設の趣旨 知識を広げ豊かに生きることを目的として行うもので、日本文学を学ぶ。今回は中世文学「方丈記」の世界を学ぶ。
- 期 間 平成28年1月16日～2月6日までの毎週土曜日（計4回）
- 時 間 午後1時30分～3時30分（計8時間）
- 対象・定員 市内在住又は在勤の方・25人
- 参加者 25人 延べ64人
- 事業内容

No.	月 日	内 容	講 師
1	1月16日（土）	浅間山大噴火の影響	日本文学研究者 棚木 恵子
2	1月23日（土）	洪水、飢餓、地震	
3	1月30日（土）休講	治承の竜巻（辻風） 安元の大火（都の消失）	
4	2月 6日（土）	無常、庶民の遺棄葬 往生要集 方丈（草庵）の生活	

○ま と め

今回の文学講座は、中世（鎌倉時代）文学の代表的な随筆とされ、「徒然草」、「枕草紙」とあわせ「日本3大随筆」と呼ばれる「方丈記」について学習した。

作者「鴨長明」は1155年に生まれたとされ、その翌年に保元の乱が、更にその3年後に平治の乱が起こり、平家一門の興隆、武士の実力が世の中を動かしていく時代が始まるなど、長明は朝廷貴族社会の古き良き時代の最後の年に生まれた。長明は下鴨社総禰^{そうねぎ}宜（神職の最高の地位）の父の立場を背景とする破格な扱いであったが、18歳のときに父が急死、暗転してしまう。

長明は、火災、竜巻、大地震など自ら経験した天変地異に関する記述を書き連ねている。乱世をいかに生きるか、同時代の災厄について記述、草庵での自らの生活がかたられている。

講座では、「ゆく河の流れは絶えずして、」の書き出しからの「方丈記」を、講師と受講者で音読、同時代の出来事や考え方をあわせた講師のわかりやすい解説に受講者の満足度は非常に高かった。



歴史講座

～奥州街道・日光街道と奥の細道～

〈栄公民館〉

○開設の趣旨 江戸五街道である奥州街道、日光街道と関わりのある松尾芭蕉についての座学と、旧日光街道草加宿に現地に現在残っている遺跡などを見て、当時の様子を学ぶ。

○期 間 平成27年9月25日、10月2日・9日の金曜日（計3回）

○時 間 午前10時～正午（計6時間）

○対象・定員 市内在住・在勤の方 20人

○参加者 22人 延べ58人

○事業内容

No.	月 日	内 容	講 師
1	9月25日（金）	「奥の細道」行・驚愕のミステリー ・芭蕉は幕府のスパイだった ・謎を秘めた芭蕉の名句三首鑑賞	街道研究家 山下敬之
2	10月 2日（金）	日光街道・奥州街道 ・怪談・伝説・民話 ・宿場町ベスト7	
3	10月 9日（金）	草加宿見学	

○ま と め

この歴史講座は、平成25年の「中仙道と川越街道」、平成26年の「甲州街道と青梅街道」に続く江戸五街道の歴史を学ぶ講座として、「日光街道と奥州街道」について学んだ。今回の日光街道・奥州街道では、奥の細道の松尾芭蕉にまつわるミステリーを芭蕉の名句との関わりなどから紐解いたり、当時の街道や宿場町に言い伝えの怪談・伝説・民話を解説、街道の歴史の奥の深さを教えていただいた。

また、日光街道の宿場であった草加宿見学では「草加宿案内人の会」の2名の方に案内協力をいただき、国指定名勝「奥の細道風景地」である「草加松原」では、当時の風情を感じ、楽しみながら歩くことができた。

参加者からは、次の講座の機会を期待する声も多くあった。



CO₂削減 緑のカーテンで夏を涼しく

〈栄公民館〉

- 開設の趣旨 ゴーヤなどで緑のカーテンを作る方法を学び、環境対策について考える。
- 期 間 平成27年6月16日(火)
- 時 間 午前2時～3時 (計1時間)
- 対象・定員 市内在住又は在勤の方・15人
- 参加者 10人
- 講師 環境まちづくり地域協議会 in にいざ
- 事業内容 ゴーヤなどで緑のカーテンを作る方法を学ぶとともに現在の環境問題についても学ぶもの。

○ま と め

最近、温暖化でとても暑い年が続いており、エアコンの使用頻度も増えている状況で、家庭での省エネや家庭からの二酸化炭素(CO₂)排出について、植物

によるCO₂吸収効果など、家庭でゴーヤを育てて緑のカーテンをつくる取組として、今回も昨年に引き続き緑のカーテンの講座として実施した。

講義では、土の準備や苗の扱い、肥料の種類と与え方、水を与える場合にはいけないことなどを丁寧に説明いただいた。

また、埼玉県環境アドバイザーである講師から埼玉県で実施しているエコライフデーについても説明をいただいた。講座終了後、受講者にはお土産としてゴーヤの苗を講師からプレゼントされ、家で早速実践できることからとても身になる講座であったと

思う。



若草学級

〈栄公民館〉

○開設の趣旨 学級を通して、様々なことを体験し高齢期を楽しく過ごす。

○期 間 平成27年5月29日～6月26日の金曜日（計5回）

○時 間 午前10時～正午

館外学習は午前8時30分～午後5時（計18時間30分）

○対象・定員 市内在住又は在勤の60歳以上の方 25人

○参加者 25人 延べ111人

○事業内容

No.	月 日	内 容	講 師
1	5月29日（金）	なつかしの童謡・唱歌を楽しく歌おう	音楽家 小川 園江
2	6月 5日（金）	セミナー 「相続について」	ライフプランナー 坂本 貢一
3	6月12日（金）	楽しく体を動かそう	健康体操指導者 玉川 彩世
4	6月19日（金）	館外学習 茨城県 つくば市	公民館職員
5	6月26日（金）	落語 「笑いで心のリフレッシュ」	落語家 真打 桂 文ぶん

○ま と め

今回の若草学級は、趣向を変えた講座全5回で構成した。

第1回目は普段あまり大きな声を出す機会がない皆さんが、なつかしの童謡を大きな声で歌いリフレッシュ。2回目は座学、3回目は軽体操で体を動かし、4回目の館外学習では、牛久大仏、味噌蔵工場を見学、ビュフェスタイルの家庭料理レストランでみんなで昼食の後、筑波宇宙センター〔宇宙飛行士コース〕を見学した。最終5回目では、みんなで笑うことで心をリフレッシュした。

5回の講座の構成はバランスがとれて、参加者は各回で参加してよかったとの感想であった。



さかえ音楽祭

～みんなで楽しく歌いましょう～

〈栄公民館〉

- 開設の趣旨 本館利用の合唱・演奏の音楽団体出演による企画で、観客を含めた全体合唱も行い、年末のひと時に地域一体となった音楽祭を行う。
- 期 間 平成27年12月19日(土)
- 時 間 午後1時～午後3時30分(午後0時30分開場)(計2.5時間)
- 対象・定員 市内在住又は在勤の方・80人
- 参加者 133人 (聴講者68人 出演者65人)
- 出演団体 ウクレレサークル カイマナヒラ ベルコーラス
オカリナサークル・ルピナス H A P P Y ゴスペル
新座オカリナカンターレ アンサンブルオリジナール
- 事業内容 本館利用の上記のサークルの合奏や合唱を発表し合ったり全員で合唱したりして、音楽を楽しむ。
- ま と め

この音楽祭は、本館利用の音楽サークル6団体に出演していただき、日頃の練習の成果を発表していただいた。各グループ20分程度の持ち時間で5～6曲を披露し、内1曲は聴講者とともに歌うプログラム構成にしたことで、会場に一体感が生まれ、演奏者も聴講者も双方が楽しめた音楽祭になった。地域の人に音楽サークル活動への理解が深まり、出演者にとっては練習への意欲が高まった。また、参加希望者多数につき、定員を60人から80人に増員した。当日の出席者は事前予約者58人、当日参加者10人、出演者65人の計133人であった。大勢で楽しく有意義なひと時を過ごすことができた。



S a k a e ウォーカー

～小江戸川越散策～

〈栄公民館〉

- 開設の趣旨 健康増進のためのウォーキング企画で、昨年に続く第二弾。
今回は小江戸川越の蔵造りの街並み、喜多院の菊まつり展などを散策し、昼食は川越名物「うなぎ」を堪能する。
- 期 間 平成27年11月5日（木）
- 時 間 午前10時～午後3時（計5時間）
- 対象・定員 市内在住・在勤の成人 15人
- 参加者 14人
- 講師 川越シルバー人材センターガイド
- 事業内容 ウォーキング企画の一つとして、秋の過ごしやすい気候の中、人気の小江戸川越を散策する。
コースとしては、東武東上線川越駅に集合し、喜多院→成田山川越別院→昼食休憩→蔵造りの街並み→大正浪漫夢通り→小江戸蔵里（物産）を巡った。

○ま と め

昨年に引き続き第二弾の企画であったが、人気の小江戸川越ということもあり、募集開始2日で満員になった。秋晴れの中、シルバー人材センターのガイドの案内で、名所旧跡を巡った。メインの喜多院では家光誕生の間や春日の局の間等往時を偲んだ。昼食は、老舗の専門店で川越名物のうなぎを堪能した。午後は蔵造りの街並みを中心に散策したが、コースは見所も多く、比較的ゆったりとした企画だったこともあって、参加者にはたいへん好評であった。



パソコン講座

～W o r dで作る写真年賀状～

〈栄公民館〉

- 開設の趣旨 パソコンのW o r d機能を使い、年賀状を作成することにより、パソコンに親しんでもらう機会を提供する。
- 期 間 平成27年10月29日（木）
- 時 間 午前10時～12時（計2時間）
- 対象・定員 市内在住又は在勤・在学の方・15人
- 参加者 12人
- 講師 斉藤 政登
- 事業内容 W o r dの機能を使い、画像やイラストの貼り付けや便利な宛名の印刷機能を使いオリジナルの年賀状を作成する。
- ま と め

最近では年賀状作成専用ソフトがあるが、パソコンに標準的に備わっているW o r dを利用して写真年賀状を作成する方法を講習した。

参加者は、普段はW o r dで文章を作成する機会が多いものの、イラストなどを使用するデザインや宛名や住所の差込み印刷はやったことがある方は少なかったため、最初は難しく感じていたようだが、講師の丁寧な指導により講座の中盤以降ではスムーズに自分だけの年賀状を作成する方法を習得していた。

なお、講座開催日は平成28年のお年玉くじ付き年賀はがきが全国一斉に販売開始されたこともあり、参加者も熱心に受講していた。



人権研修会

〈栄公民館〉

- 開設の趣旨 公民館利用者団体の方を対象に人権について学習する。
- 期 間 平成27年10月24日（土）
- 時 間 午前10時～10時35分（計35分）
- 対象・定員 栄公民館利用団体代表・55人
- 参加者 52人
- 事業内容 栄公民館利用団体の利用者懇談会と合わせて人権研修会を開催し、人権DVD資料「マララ」を上映。
- まとめ

少女は、2012年10月パキスタンで通っていた中学校から帰宅するためスクールバスにのっていたところを複数の男から銃撃を受け、頭部と首に計2発の銃弾を受け負傷した。イギリスの病院に移送され外科手術により銃弾が摘出され奇跡的に回復した。

パキスタンでは、武装勢力により特に女性に対して教育を受ける権利を奪い、教育を受けようとしたら推進しようとする者の命を狙うような状況であった。

少女は、パキスタン政府主催の講演会に出席、女性の権利などについて語っていたのであった。

少女マララは2014年、17歳での史上最年少のノーベル平和賞を受賞、「私たちはこんなに現代的な社会に住んでいるのになぜまだ世界に1冊の本と1本のペンを求める子供たちがこんなに多いのか、彼らが欲しいのは学校。これを今日ここで伝えたい。」のスピーチは世界中の人々が感動した。

この上映により、差別や偏見をなくすためには、どうしたらよいのか。また行動することについて学んだ。

パソコンサロン

〈栄公民館〉

○開設の趣旨 日常的に、いつでも、自由にレベルの違いに合わせてパソコンを学べる場を提供する。

○期 間 通年、原則第3木曜日

○時 間 午後1時～4時30分（計3.5時間）

○対 象 市内在住又は在勤の方・毎回10人程度

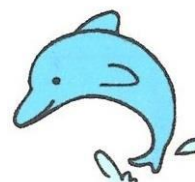
○参 加 者 一回につき10人程度 延べ99人

○事業内容 パソコンを学ぶ機会として、毎月第3木曜日にボランティアサークル「パソボラいるか」のメンバーを講師に迎え、受講者各々のレベルに合わせてパソコンサロンを実施した。

○ま と め

平成18年度から日常的に、いつでも、自由にレベルの違いに合わせてパソコンを学ぶことができる場を提供している。

「ボランティアサークル パソボラいるか」のメンバー4～5人がボランティアで講師として丁寧に指導を行ってくれた。参加者のレベルがまちまちのため指導が大変なようだが、分からない点を気軽に学べる場として大変好評である。



パソボラいるか